



陽光

Vol.15
通巻 95 号

第63回 水戸黄門まつりに参加しました

今年の夏は、花火大会やお祭りなどが全国津々浦々で開催されているニュースを沢山目にしました。水戸でも、8月5日(土)・6日(日)に黄門まつりが開催され、駅前から5km程の大通りが歩行者天国になり、山車や神輿、ダンスパフォーマンスで賑わいました。年々暑さが厳しくなっていく中で熱中症の心配はありますがそれよりも、毎年同じ時期に、同じ場所でお祭りがある、この時期だけはいつも閑散としている街に人がたくさん戻ってきて活気にあふれる、という状況に喜びを感じます。

泉町ギャラリー「窯(YOO)」(以下、ギャラリー)は、開所以来、地域のまちおこしへの参画を大切にしてきました。

泉町3丁目商店会の一員として、毎年ギャラリーの外にテーブルを出し、かき氷を販売してきました。今年はどうしようか…と考えていた7月頃から、連日30~35℃ほど。熱中症警戒警報の毎日で夕方でも全然涼しくならず。これでは屋外でのかき氷販売なんて倒れてしまいそう。というわけで、光風会としては無理せずに参加できる方向に転換しました。今年は、「涼みどころよう」として、休憩所を開きました。こんなに暑い中でのお祭りなのだから、エアコンの効いた所で、お客さんに少しの時間でも涼しい思いをしてもらえたら。アイスクリームの販売もしたせいか、2日間ともに子連れのお客さんの利用がありました。

「風(FOO)」は閉館とし、お祭りへの参加をよびかけました。毎年来る5名の所員は、ギャラリーを拠点に今年もまち歩きを楽しんでいたようです。「もっと所員が来られたらよかったな。」と思いましたが、熱中症や新型コロナウイルスを警戒したり、帰りの車の運転が心配などの理由で参加を迷って、来なかった所員もいた、と後から聞きました。昨今の状況を考えると、身を守るためにはその選択もありです。

紙面を通して、お祭りの雰囲気味わっていただけたら幸いです。

(「風(FOO)」所長 河原井まゆみ)